

農林漁業現地事例情報「食料自給率向上に資する取組事例」

行動計画の項目に基づいた分類：イ 食育の推進の取組

取組名：田んぼの学校「田でんガーデン」で「米MYスタディー」

取組主体：岩見沢市立北村小学校（北海道・岩見沢市）

1 取組の背景

総合学習の一環として、地域の基幹産業である稲作を教材に、平成14年から学校田「田でんガーデン」で稲作体験学習を実施している。

2 取組の具体的内容

北村小学校の3～6年生が総合学習「米MYスタディー」として、田植えから脱穀までの一連の作業を、児童各自が課題を持ちながら体験している。

収穫後には、稲作体験を通じて学習したことや収穫の喜びについて発表しあうほか、全校児童参加の餅つき集会を実施し、1・2年生や父母・祖父母らも交えて収穫の喜びを味わっている。

学校田の「田でんガーデン」はPTA、地域住民、土地改良区、地元行政機関などの支援・協力を得ながら整備している。

3 取組の具体的効果

稲作体験学習をとおし、地域の産業への理解を深めることが出来ている。

農家の児童においては、農業を理解し手伝いを自発的にしようとする児童が増えている。

稲作の困難さや苦労、また喜びを体験することで食と農について理解を深めている。

4 今後の展開方向

現在年間105時間ある総合学習の時間が、今後35時間減少し70時間となる予定なので授業内容の見直しが必要となってくる。

また、北海道農業・農村振興条例をもとに土地改良区が主体となって学校田の整備をしているところだが、財政的に現在と同じような取り組みが今後も続けられるか課題である。

5 取組に係る問題点と解決策

特になし。



刈取り作業を前に担任の先生から、地域住民をはじめ、学校田を支えてくれている方々への感謝の気持ちを忘れずにと挨拶のあと、稲刈りの手順や鎌の扱い方、はざかけ等の説明を聞く様子。



秋晴れの中、大人の手も借りながら稲刈りを進める様子。



刈取った稲を束にして縛り「はざかけ」(写真後方)をします。

【情報収集官署】 北海道農政事務所 岩見沢統計・情報センター

連絡先：0126-23-4466